

R2およびR1のリコールについて

平成18年9月26日

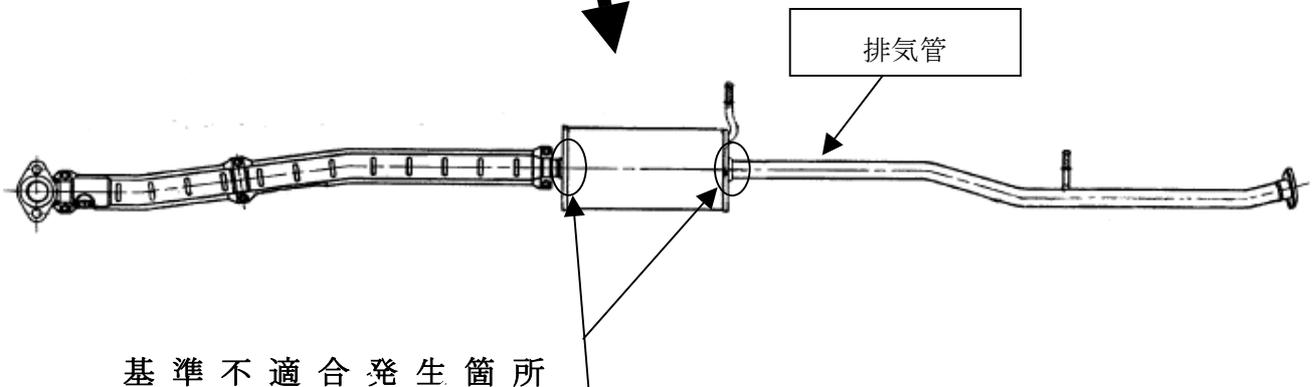
平成18年9月26日、富士重工業株式会社より、国土交通省にR2およびR1のリコールを届け出いたしました。

リコール届出番号	1732	リコール開始日	平成18年9月27日
届出者の氏名又は名称	富士重工業株式会社 取締役社長 森 郁夫 問い合わせ先: お客様相談部 TEL 0120-052-215		
不具合の部位(部品名)	排気管		
基準不適合状態にあると認める構造、装置又は性能の状況及びその原因	排気管において、前方にある副消音器の溶接が不適切なため、走行時等の振動により当該溶接部に亀裂が発生するものがある。そのため、そのまま使用を続けると、溶接部の亀裂が進行し、最悪の場合、副消音器と排気管が分離し、騒音が増大するおそれがある。		
改善措置の内容	全車両、当該排気管を良品に交換する。なお、良品の全数供給に時間を要するため、排気音等の異常がある場合は排気管を交換し、異常がない場合は部品の準備が出来次第交換する。		
不具合件数	48件	事故の有無	無し
発見の動機	市場からの情報による。		
自動車使用者及び自動車分解整備事業者に周知させるための措置	・使用者:ダイレクトメール、直接訪問又は電話で通知する。 ・自動車分解整備事業者:日整連発行の機関誌に記載する。 ・改善実施済車には、後面ガラス左下隅にNo.1732のステッカーを貼付する。		

車名	型式	通称名	リコール対象車の車台番号の範囲及び製作期間	リコール対象車の台数	備考
スバル	LA-RC1 UA-RC1 ABA-RC1 CBA-RC1	R2	RC1-002002 ~ RC1-057206 平成15年11月28日 ~ 平成17年1月31日	53,444	
	LA-RC2 UA-RC2 ABA-RC2 CBA-RC2		RC2-002001 ~ RC2-020599 平成15年11月28日 ~ 平成17年1月31日	17,721	
	CBA-RJ1	R1	RJ1-002006 ~ RJ1-003956 平成16年12月15日 ~ 平成17年2月10日	1,939	
	CBA-RJ2		RJ2-002002 ~ RJ2-002505 平成16年12月15日 ~ 平成17年2月9日	498	
	(計10型式)	(計2車種)	(製作期間の全体の範囲) 平成15年11月28日 ~ 平成17年2月10日	(計73,602台)	

対象車の車体番号及び製作期間の範囲には、対象にならない車体も含まれる場合がありますので、詳しくは最寄りの販売店にお問い合わせください。

改善箇所説明図



基準不適合発生箇所

排気管において、前方にある副消音器の溶接が不適切なため、走行時等の振動により当該溶接部に亀裂が発生するものがある。そのため、そのまま使用を続けると、溶接部の亀裂が進行し、最悪の場合、副消音器と排気管が分離し、騒音が増大するおそれがある。

改善内容

全車両、当該排気管を良品に交換する。なお、良品の全数供給に時間を要するため、排気音等の異常がある場合は排気管を交換し、異常がない場合は部品の準備が出来次第交換する。

識別

排気管前方の締結ボルトに白ペイントを塗布する。

は交換部品を示す。

リコール対象車の主要諸元

車名	型式	通称名	種別・用途	車体の形状	原動機の型式(総排気量(cc))	備考
スバル	LA-RC 1	R 2	軽(4輪)・乗用	箱型	EN07(0.658)	
	UA-RC 1					
	ABA-RC 1					
	CBA-RC 1					
	LA-RC 2					
	UA-RC 2					
	ABA-RC 2					
	CBA-RC 2					
	CBA-RJ1	R 1				
	CBA-RJ2					